

平成25年度入学試験日程

Table with columns: 区分, 募集人員, 試験科目, 出願期間, 試験日, 試験会場. It lists exam dates and locations for various departments like 歯学部 and 薬学部.

■大学案内・募集要項請求先(送料とも無料)

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31-1 奥羽大学 入試係 ☎024-932-8931(代)

Table with contact information for Oyu University, including address, phone, fax, and website details.

奥羽大学報



<歯学部1年 根本華菜子さんと愛馬ブダライ・ギスモ 2012 壬生ジャンピングホースショーII 中障害B II (H130cm) 優勝>

目次

Table of contents listing various articles and their page numbers, such as '献体者合同慰霊式' on page 2 and '平成25年度入学試験日程' on page 12.

献体者合同慰霊式

平成24年度の「奥羽大学献体者合同慰霊式」が5月31日(木)、郡山市片平町にある、震災から修復された霊鷲山常居寺の本堂及び慰霊塔前にて執り行われた。

ご遺族、白菊会会員並びにご来賓の方々約100名のご臨席を賜り、本学からは天野義和学長をはじめ、教職員及び本年度歯学部系統解剖学受講の第2学年全員が参列した。ご献体をされた方々並びにご遺族に感謝し、ご冥福を心よりお祈りした。



第1回薬物乱用防止教育の開催

6月18日(月)17時20分より、薬学部教授、宇佐見則行先生を講師として、「薬物乱用防止教育-医薬品の適正使用における医療人の心得-」という演題で、学生を対象に講演会を開催した。今年4月より新聞などで取り沙汰されている「合法ハーブ」、「脱法ハーブ」、「違法ハーブ」とその他の乱用薬物の危険性や有害性についての講演であった。

また、医師法第1条、歯科医師法第1条及び薬剤師法第1条に掲げられている「公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保する」という共通の条文を取り上げ、歯科医師と薬剤師の医療人としての心得を教授された。

福島県知事からの感謝状

6月22日(金)に福島県知事より感謝状が奥羽大学歯学部へ贈られた。

この感謝状は、奥羽大学の歯科医師が東日本



大震災及び原子力災害に際して、被災地への職員の派遣はもとより物心両面での支援による貢献に対して贈られたものである。

今後も被災者への支援を大学として行っていきたい。

交通安全講習会

6月18日(月)18時より記念講堂において、平成24年度交通安全講習会が開催された。上野薬学部学生部長の挨拶に続き、郡山北警察署本田一郎交通課長の講演及び交通安全啓蒙のビデオ上映が行われた。

講演では郡山北警察署管内の交通事故危険箇所の説明があり、交通事故を予防するには譲り合いの気持ちと車のスピードの抑制が大切であることが強調された。引き続き武田守衛係長より、車輛通学、学内駐車に関する遵守事項の確認が行われた。交通安全に対する日常の心がけについて再認識でき、有意義な講習会であった。



薬学部国際学会参加報告

開催期間	発表演題	学会名	開催地	発表者
2012年6月13日~16日	β -ラクタマーゼ産生多剤耐性黄色ブドウ球菌に対するケノデオキシコール酸の β -ラクタム剤感受性増強効果について	第15回国際感染症学会	タイ	堀江 均

第53回奥羽大学歯学会の開催

奥羽大学歯学会が、6月16日(土)に病院棟5階臨床講義室で開催された。当日は4つの学位講演を含む12演題の口演が行われた。発表に対しては、参加者から多くの質問が寄せられた。特に基礎歯学分野の演題では、研究成果の臨床応用への可能性について活発な討論が展開された。評議員会・総会も開催され、平成24年度学会賞を高橋進也助手が、優秀発表賞を板橋仁講師が受賞した。



板橋仁講師(写真左)と高橋進也助手(写真右)

北京大学大学院で講演

深圳は経済特別区として中国の経済発展を成功させてきた大都市である。この地に北京大学の大学院にあたる深圳研究生院が所在する。当研究生院の化学生物与生物技術学院においてセミナーを行う機会を得た。「SPYMEGという融合パートナー細胞を用いて、インフルエンザウイルスに対するヒトモノクローナル抗体が作製できる」ことについて話をした。

市内の新聞にも案内が出されたが、参加者は大学院生が中心であった。院生は内容を完全に把握し、質問も的確であり、とても素晴らしい大学院であ

ると感じられた。既に世界に有能な人材を多数輩出しており、今後、益々発展するであろうと期待される。今回、大変貴重な体験ができ、これからの教育・研究に生かしたいと思う。(薬学部 山本正雅)



大学院研究経過発表会

8月30日(木)に平成24年度大学院研究経過発表会が臨床講義室で行われた。大学院では、研究の途中で他領域の教員に意見を求める場を提供するため、研究経過発表会を開催している。対象は一般大学院3年生の3名と社会人大学院4年生の4名である。当日は大学院生、大学院教員のほか歯学部教員も参加し、活発な討論が交わされた。



薬学部第1回FD講演会の開催

6月13日(水)17時より、前九州保健福祉大学副学長の山本郁男先生を講師にお招きし、「国家試験合格へ導く教育のあり方-教員の意識改革の必要性-」という演題で、教員を対象とした講演会を開催した。

講演では、①国試合格へ導く教育は、諦めないで学生を指導することに尽きる。②学生は多種多様であるため、一筋縄ではいかない。③教育は諦めるのではなく、目線を変えた教育こそ重要である。また、学生と如何に協調していくかが鍵となる。④一方、講義内容は、難しいことを分かり易く、易しいことを面白く、面白いことを哲学的に教授できるかにかかっている。⑤ライセンスをとるといことは、如何に難しいことか、欠席したら損をと思わせることが必要である。⑥学生との目と目を合わせた学習の中で、自信を持たせること、学生の良さを見つけ一人ひとりの能力を引き出し引き延ばす教育こそが、入学を許可した教員の責務である。⑦大学の環境は、教育、研究、経営などが整っている必要があり、どれ一つ欠けてもいけない。また、大学の環境は学生、教員そして父母から成り立っていることをよく考えなければならぬ。と、これまで50年間の教育現場で培われた経験と哲学の一片をご紹介頂いた。



蜂谷眞也君(歯4年)がSCRPで入賞

歯学部4年生の蜂谷眞也君が、8月17日(金)に東京市ヶ谷の歯科医師会館で開催された平成24年度スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)で研究活動を発表し、見事入賞した。SCRPは、全国の歯学部学生が一堂に会して日頃の研究活動の成果を発表するものである。発表とそれに対する質疑応答もすべて英語で行われた。蜂谷君は授業終了後や土曜日などを利用して実験を行うとともに英語の発表練習に励んだ。その努力が実を結んだ。

蜂谷君の研究の内容は、口腔カンジダ症の感染モデルに関するものである。今まではin vivoの感染モデルしかなかったが、in vitroのモデルを開発できたことで、カンジダの感染実験をより容易に行えるようになったことを報告した。

リサーチマインド(研究心)を持った歯科医師の養成は、現在の歯学教育で大きく求められるものである。このことを反映して、SCRPへの参加大学も毎年増加している。本学はすでに7年前から参加し、学生のリサーチマインドの涵養に役立させている。



慶熙大学姉妹校交流

本学と慶熙大学との姉妹校交流は、昨年、震災で中止となったが、本年、学術交流という形で再開した。本学からは歯学部のライフサポート部員7名(1年1名、2年2名、3年1名、5年3名)及び引率として山崎信也教授の計8名が、8月5日(日)から8月10日(金)までの日程でソウルの慶熙大学を訪問した。初日は歯学部長との面談、病院とキャンパス見学、手術室見学、歓迎会、2日目は、医療工学の講義、慶熙大学江東病院見学と講義、江東病院での歓迎会であった。3日目は、口腔内科見学のあと市内観光、学生による歓迎会と続いた。4日目は、保存科の見学、特別講義、送別会が開催された。学生と教員とが多数関わり、本学学生にとっても忘れられない交流となった。



歯学部父兄会地域会の開催

平成24年度は、昨年出された保護者からの要望で土曜日から日曜日開催となった。東京(6月24日:41名)を皮切りに福岡(7月1日:26名)、大阪(8日:27名)で行われた。

大学側から学部長始め教職員7~8名および父兄会長あるいは幹事が出席し、現況報告を行った。

次いで、学生部長より配布資料に沿い平成23年度の震災後の社会貢献、現在の郡山市内、日常生活での積算放射線量、新学費制度、入試改革、歯科医師の将来について丁寧に説明がなされた。

また、平成24年度の教育基本方針、国家試験の合格基準の決定方法と臨床実地問題、CBTと国

家試験の相関関係についての重要性にも言及し、平成24年度の各学年における進級判定基準の説明も行った。

昼食懇親会では国家試験関連の話題が多く、午後からは個別懇談会が行われた。



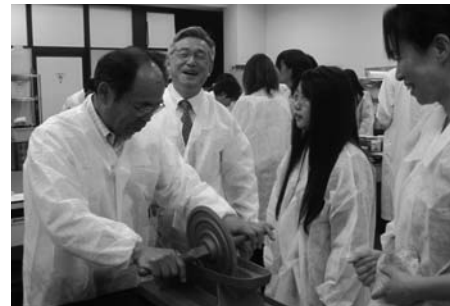
中学生・高校生が本学訪問

5月末から7月初めにかけて、進路学習やキャリア教育の一環として、福島県立修明高等学校、郡山第二中学校、郡山第五中学校、三春町立三春中学校、田村市立都路中学校の生徒が本学を見学に来訪した。いずれの場合も、歯科医師あるいは薬剤師になるためにはどのような学習が必要なのかを説明したあと、簡単な体験実習等を通して、実際に楽しさ、難しさを感じていただいた。将来、歯科医師・薬剤師として活躍することを期待したい。



漢方薬体験教室

6月16日(土)、薬学実習棟において漢方薬を作る「体験教室」が開催された。当日は薬学部早坂正孝教授をはじめ4名の教員が講師となり、定員超過となる43名が参加した。体験教室では、講師の指導の下、様々な道具を使いながら生薬を煎じて漢方薬を作るという貴重な体験ができた。



薬学部科学実験講座の開催

8月10日(金)に5年目となる薬学部科学実験講座を開催した。今年は、小学生親子対象として「花火」、「光」、「蛍」の3講座、中学生対象として「反応熱」、「着色料」、「ルミノール反応」の3講座、計6講座の内容で行った。

各講座とも受付開始直後には定員を満すほどで、96名の参加があり、白衣に着替えた「1日科学者」たちは、真剣な顔つきで実験に取り組んでいた。



薬学部キャリア支援講座開催

毎回違ったテーマを決め、就職活動の第一歩である企業分析の仕方、就職活動計画の立て方から始まり、薬学生の仕事研究「保険薬局の事業展開と今後の展望」と「公務員としての薬剤師」の2つの講演を含めて、5月よりキャリア支援講座を4回実施した。講演では、仕事としての魅力や日々の業務を貴重な体験を交えて話された。またキャリアガイダンス「就職の進め方」では企業へのアプローチの進め方、エントリーシートの書き方、電話のかけ方、身だしなみやメイクの仕方など具体的な就職活動を行う上で参考となる事柄を中心に講演が行われた。

全学年を対象とした支援セミナーを予定しているため、低学年の学生の参加が望まれる。

内 容	
9月	一般常識模擬試験
10月	SPI2模擬試験
11月	就職活動実践講座 「解る、書ける、受かる!! エントリーシート作成から採用まで」 —受かる学生と落ちる学生何が違うのか—

薬学部1年生早期体験学習(工場見学)

7月12日(木)に薬学概論の授業の一環として、学習のモチベーションを高めるため、早期体験学習

(工場見学)を実施した。30名が米沢浜理薬品工業(米沢市)、51名が東北ニプロ製薬(鏡石町)と、2班に分かれての見学学習となった。参加した学生は、医薬品の製造工程や、工場内で勤務する薬剤師有資格者の業務内容を見聞した。

薬学部特別実習(卒業研究)発表会

8月3日(金)に、薬学部6年生の特別実習(卒業研究)発表会を開催した。現6年生は、研究室配属が決まった直後に東日本大震災があり、5年次のスタートが少し遅れたが、非常に苦労した中で各々の研究を進めてきた。

今年は、対象学年の5、6年生に加え、4年生以下の見学を自由にして、先輩方の研究発表を見る機会を設けた。発表者はパワーポイントや印刷資料などを使って、見学者にも内容が理解できるよう工夫を凝らして発表を行った。



学友会活動記録

部活動名	大会名	開催地	開催期間	成績
バスケットボール部	北日本歯科学学生バスケットボール大会	日本歯科大学新潟生命歯学部	5月 3日～ 6日	<男子> 3位
卓球部	全日本薬学生卓球大会	大田区大森スポーツセンター	8月13日～14日	<個人戦> 3回戦進出 志岐尚広
アーチェリー部	第9回福島県学生アーチェリー大会	福島県	6月 9日～10日	<30・30m> 第2位 薬学部5年 飯塚有紀 第3位 歯学部1年 松村賢史
	第65回福島県総合体育会アーチェリー競技	三春町運動公園	7月 7日～ 8日	<成年男子50・50m> 第1位 歯学部5年 盛植 泰輔 第2位 薬学部3年 及川 晃博 第3位 歯学部3年 山崎 智博 <成年女子30・30m> 第1位 薬学部5年 飯塚 有紀 第2位 薬学部4年 栗山 裕未
ゴルフ部	関東歯科学学生ゴルフ対抗戦	千葉国際カントリークラブ	6月29日～30日	<男子団体> 第2位 <個人> 第2位 歯学部5年 岡 真和
柔道部	全日本歯科学学生体育大会	長崎県立総合体育館	8月 2日～ 7日	<男子団体> 準優勝 <個人> 無差別級 ベスト8 歯学部5年 佐藤暢彦 66kg級 ベスト8 歯学部5年 高橋優彰

第20回奥羽祭のお知らせ

テーマ:千紫万紅

学生、教職員一同、皆様のお越しを心からお待ちしております。お問い合わせの上、ぜひご来学ください。

10月13日 SAT	10月14日 SUN
11:00～16:00 WANTED	11:00～14:00 万歩計ゲーム
11:30～13:00 うまい店コンテスト	11:30～12:30 目指せ! ?/? アンケート
13:30～14:30 お笑いライブ	12:45～13:30 ロック研究会ライブ
15:00～16:00 ロック研究会ライブ	14:00～15:00 スペシャルトークイベント 柳沢慎吾
	15:30～ BINGO大会

夢ナビライブ

6月23日(土)大阪会場、7月14日(土)東京会場、7月19日(木)名古屋会場で開催された夢ナビライブ企画に参加した。夢ナビライブは高校生・保護者・高校教員と直接出会う進学説明会である。特徴は講義ライブ、質問コーナー、個別説明ブースがあり大学進学者にとって必須の情報源である。本学から、各会場講義ライブに歯学部横瀬敏志教授が「もし、人の歯がサメのように何度も生えたらどうなる?」、東京会場で薬学部柏木良友教授が「人間のからだにやさしい薬を〜電気エネルギーの力を借りて〜」と題した講義を行った。大勢の高校生が来場し、講義ライブに興味をもった高校生が質問コーナーに立寄り質問をした。また、高校生から夢ナビライブ終了後、本学の講義ライブが大変有意義であったとの声が届いた。



街なかライブ

教育・研究の情報発信の取り組みの一環として県内主要な場所で開催した「平成24年度 街なかライブ in福島県」が終了した。下記の4会場で講演が行われた。57名の参加者があり、「日常生活にかかわる内容が多く、よく噛むことの大切さがよくわかりました」など、和やかな雰囲気であった。



開催日	会場	演題	発表者
6月2日(土)	福島市アクティブシニアセンター「アオウゼ」	実験で理解する齶蝕(虫歯)発生メカニズム	廣瀬 公治 歯学部教授
		身の回りの科学:お茶を科学的に解明しよう	竹元万壽美 薬学部教授
6月9日(土)	いわき産業創造館	噛むことは脳を活性化し、運動能力を増す	清野 和夫 歯学部教授
		人間のからだにやさしいクスリ	柏木 良友 薬学部教授
6月23日(土)	ホテルニューハルス(会津若松市)	噛ミグ30(カミングサンマル)の効用	瀬川 洋 歯学部准教授
		(健康と環境)-食と食品添加物について	押尾 茂 薬学部教授
6月30日(土)	白河市立図書館 地域交流会議室	命を脅かす微生物と命を助ける微生物	清浦 有祐 歯学部教授
		保健機能食品と私たちの食生活	上野 明道 薬学部教授

平成24年度秋のオープンキャンパスのお知らせ

奥羽大学では秋のオープンキャンパスを開催して皆様のお越しをお待ちしております。

10月14日(日)では、教養講座として奥羽大学の模擬授業が体験できます。当日は、奥羽大学の教員が授業を行い、大学ならではの専門的な内容を分かり易く講義をします。また、入学相談コーナーでは、授業のカリキュラム、奨学金等の相談はもちろん、生の大学を知ってもらうため現役の奥羽大生が大学生活相談等にも乗ります。10月21日(日)は、これからの「推薦入試」に備えるため面接試験対策を行います。現在の大学が求める学生について予備校とは異なった視点で、面接のコツをお教えします。

是非、この機会を逃さず奥羽大学を、そして大学という空間を味わってください。



秋のオープンキャンパス	
10/14(日) 奥羽祭を楽しもう 【受付】薬学部棟1階ロビー 9:30~ ◎教養講座(歯学部・薬学部) ◎個別相談	10/21(日) 推薦入試に備えよう! 【受付】第3講義棟1階ロビー 9:30~ ◎面接試験対策 ◎小論文試験のポイント(歯学部のみ)

※開催時間 10:00~12:00

※当日参加もできますが、準備の都合上、なるべく事前にお申し込みます。

☎024-932-9007 E-mail info@ohu-u.ac.jp

附属病院

自衛消防訓練

本年度第1回目の自衛消防訓練が6月5日(火)に実施された。訓練は、通報訓練・避難訓練・消火訓練の3つを中心に行われた。

通報訓練では火災通報装置の使用法の講習が、避難訓練では救助袋使用法講習および階段を使用した避難がそれぞれ行われた。消防設備の取り扱い等の講習の後、屋内消火栓を使用した消火訓練が実施され、新入教職員を含めた71名の参加者は、真剣な面持ちで訓練に臨んでいた。



第1回研修歯科医派遣式

6月28日(木)、地域医療短期研修プログラムの研修歯科医7名および地域医療長期研修プログラムの研修歯科医5名の研修施設派遣式が行われた。12名の研修歯科医は呼名起立後に高橋和裕病院長より訓辞を受け、その後各々の決意表明を述べ出席者の激励の拍手に見送られた。

派遣施設先は秋田県が1名、栃木県が6名、福島県が5名であり、その研修期間は短期研修プログラムが10月27日(土)までの4か月間、長期研修プログラムが来年2月23日(土)までの8か月間である。



BLS/AED講習会

本年度も6月、7月の月曜日の17時30分から18時30分に附属病院臨床講義室にて、院内BLS/AED講習会を「アメリカ心臓協会ガイドライン2010」に則り開催した。この目的は万が一の心停止時にも適切な対処ができるようにするためである。

参加者は、研修歯科医29名、歯学部教職員3名、薬学部教員2名、大学院生2名、事務職員2名、その他3名の合計41名であった。受講者は1日6名で、本学のAHA-BLSプロバイダー所有者が輪番制でインストラクターを担当し、受講者2名にインストラクター1名が付き濃厚な講習がなされた。



ので)。汗を流した後のビールは、最高です。今後も身体に気を付けて、同窓会活動をして行きたいと思っております。

また昨年の東日本大震災では、青森県の太平洋側も、津波の被災地でした。私の住んでいる八戸では、8.4mの津波を観測しました。沿岸部の住宅、水産加工場、火力発電所など、大変な被害を受けました。幸いにも人的被害は、二人だけでしたが、タンカーが岸壁に乗り上げられたり、防潮堤が破壊されたり、フェリー埠頭、建物が消失し、他県ナンバーの車が半年以上も散乱した状態でした。会員の被害は、建物のヒビ位で、大きな被害は、有りませんでした。私の医院は、港地区に有りましたが、少し高い位置に有り大丈夫でした。それでも、津波の際から20m位でした。2日間停電が続き、寒い中での生活でした。電話が通じる様になってから安否、お見舞いの連絡を頂き、書面を持って、お礼申し上げます。

(青森県支部長 村上寿宏)

同窓生のひろば

小松 純一(歯学部 7期生)

7期生の小松純一です。最初に秋田県支部を少し紹介します。

25年前の昭和62年4月に一期生の田口昭博先生からの、そろそろ秋田にも支部を作ろうよの一声で発足しました。当初は34名でしたが現在は、51名です。初代支部長はもちろん、言い出さずで気遣いの田口昭博先生です。その後極めて温厚な2期生の松田稔先生、そしていつもニコニコ・ラガーマンの5期生古田大先生、そして現在は真面目頑張り屋の3期生島山桂郎先生です。歴代の支部長のお陰を持ちまして、なんでも話しができるアットホームな会になっています。秋田にお越しの際には是非声をおかけ下さい。

では、私の個人的な近況を・・・なんせ入学時がすでに32歳だったもので、すでに66歳、入学時は爺と言われていましたが、現在は名実ともに爺に成りました。生来の楽天的な性格のせい、とくに病気もなく老眼にもならず、なんとなく毎日、楽しく診療しています。

6年程前、長男が秋田市郊外の里山に吹きガラスの工房を開きました。ショップが併設されており、妻と共に週末は店番、店回りのガーデニングに押し掛けております。隣の敷地に畑もやっています。300坪ありじゃがいも、トマト、キュウリ、ゴウヤ、落花生、かぼちゃ、大根等かなり沢山の野菜を作ってます。自称

同窓会だより

昭和55年卒業三期の村上です。

今年より、青森県支部の支部長をしております。青森県における卒業生は、60名程、奥羽大学歯学部の在生は、5名となっております。我が県は、大学が有る福島県と同様大きく、三地区に分かれています。

太平洋側に位置する八戸市、三沢市と隣接する十和田市地域と、青森市を中心とした地域、日本海側に近い弘前市を中心とした津軽地域です。そのため、総会、忘年会等を毎年、開催しておりますが、会員の参加が多くは有りません。講演会、ゴルフ、ボウリング大会など、色々趣向をこらしているのですが、参加者が増えません。前支部長時代から、理事会を三地区で、持ち回りで、開催して、その後の懇親会に、その地区の会員をまじえて行い、会員の会への、参加の掘り起こしを行っております。大学を卒業して、30数年、歯科界は、相変わらず、冬の時代が続いていますが、今は、辛抱の時と思っております。そのため、健康が一番だと思います。

同窓の計報が届く度に、痛感させられます。冬は、アイスホッケーをしています、夏は何もしてなかったので、ウォーキングを初めました(走ると膝に来る

兼業農家です。来年の為の堆肥から土作り、完全な有機肥料と無農薬です。使っている農薬はひたすら、テデトールだけです。農業は奥が深く何年たっても問題が沢山あり、未だまともな野菜ができておりません。毎年違う害虫が大発生一昨年はカメムシ、去年はテントウムシ、今年はカタツムリ、なんと想像を絶するほどの数で一枚の葉っぱに10匹ほどの小さなカタツムリが畑じゅうに何千匹もいると思うとクラクラします。その他毎日実り具合を確認にやってくるカモシカ、人を怖がらないアナグマ、たぬき等と共生しています。

ガラス工房の名前はヴェトロと言いますがそこで飼っている6歳の雑種の雌犬ムーコが最近ちょこっとブレイクしています。隔週発売の漫画雑誌イブニングに昨年の4月から『いとしのムーコ』として連載されており、今年4月講談社から単行本第一刊が発売されました。機会がありましたら、ご覧下さい。グラス作りの体験も行っています。どうぞ秋田に遊びに来て下さい。

二階堂 淳美(薬学部 1期生)

卒業生の皆様、お久しぶりです。奥羽大学1期生の二階堂淳美です。

会員の皆様や関係者の皆様には、日頃より同窓会の活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。

震災からやく1年半がたちますが、まだまだ原発事故の影響や、震災の影響が県内にも多く残りますが、日々の復興を心よりお祈りいたします。

6月のオープンキャンパスに、今年も「職業としての薬剤師」と題して、見学の高校生の前でお話をさせていただきます。保護者の方の参加も多く、熱

心に聴いていただき、非常に緊張しました。また、自分も普段の業務や関係法規等の復習にもなり、とても有意義な時間となりました。

6学年制移行の影響か、男子学生の姿もおおかったように思います。

今回のお話で、薬剤師の存在意義のご理解や、職業選択の一向になっていただければ幸いです。

また、今回はボランティアの薬学生と一緒に、高校生とお話する機会もいただきました。

高校1年生から3年生まで何組かの生徒さんと保護者の方とお話ししましたが、驚いたことに、それぞれ悩みや進路の状況など私の時よりも、職業選択への意識が高いなと感じました。県内の生徒さんが多かったようですが、地域医療に根付くためにも是非、奥羽大学薬学部の後輩になっていただきたいなと思いました。

そして、ボランティアの薬学生の頼もしさに関心いたしました。薬剤師の立場を理解して、一生懸命薬学を学ぶ姿に、同じ医療を目指す者として、私も頑張らなければと感じました。

今年の診療報酬の改定で、薬剤師の職務は大変重要なポイントとなりました。お薬手帳の見直しや、ジェネリックの選択など、知識と技能を使い生きた医療が求められている時代になってきているのでしょうか。学生に負けないよう、職能を存分に発揮できる薬剤師になれるよう日々努力していきたいと思います。

人 事

〈任 用〉

多田 浩之 歯学部 准教授 8月1日付
(口腔病態解析制御学)

大学院研究科入学試験

大学院歯学研究科(博士課程)は、平成19年度より社会人特別選抜を実施し、現在14名の社会人大学院生が在籍しています。社会人大学院生の研究の利便性を考慮し、夜間カリキュラムに加え、夏期集中講義を開設しています。

一般の大学院生のカリキュラムも充実しており、本学大学院の教育理念である人間性・創造性豊かな人材の育成と科学的研究の達成のため、歯学研究に取り組んでいます。

8月25日(土)に平成25年度一期入学試験を実施しました。

入学試験日程は以下のとおりです。

区分	出願期間	試験日	試験科目
一期	平成24年 8月 6日(月)～平成24年 8月23日(木)	平成24年 8月25日(土)	外国語(英語) 面接
二期	平成24年11月 1日(木)～平成24年12月 6日(木)	平成24年12月 8日(土)	
三期	平成25年 1月15日(火)～平成25年 2月14日(土)	平成25年 2月16日(土)	

学校法人晴川学舎 平成23年度決算報告

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度に行った諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容、並びに支払資金(現金及び預貯金)の収入及び支出の顛末を表すものです。(単位:円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,758,255,000	2,558,767,800	199,487,200
	補助金収入	1,108,692,000	1,142,487,000	△ 33,795,000
	その他の収入	5,032,056,100	4,921,885,680	110,170,420
	前年度繰越支払資金	3,953,738,225	3,953,738,225	0
	収入の部合計	12,852,741,325	12,576,878,705	275,862,620
支出の部	人件費支出	2,461,198,000	2,378,159,203	83,038,797
	教育研究経費支出	1,223,383,000	977,069,679	246,313,321
	その他の支出	4,905,561,578	7,976,713,208	△ 3,071,151,630
	次年度繰越支払資金	4,262,598,747	1,244,936,615	3,017,662,132
	支出の部合計	12,852,741,325	12,576,878,705	275,862,620

2. 消費収支計算書

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入と消費支出の内容及び均衡状態を明確にするものです。(単位:円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金	2,758,255,000	2,558,767,800	199,487,200
	補助金	1,108,692,000	1,142,487,000	△ 33,795,000
	その他の収入	895,727,000	1,167,775,187	△ 272,048,187
	帰属収入合計	4,762,674,000	4,869,029,987	△ 106,355,987
	基本金組入額合計	△ 4,007,725,000	0	△ 4,007,725,000
	消費収入の部合計	754,949,000	4,869,029,987	△ 4,114,080,987
支出の部	人件費	2,427,516,000	2,306,379,122	121,136,878
	教育研究経費	1,863,526,000	1,620,474,342	243,051,658
	その他の支出	519,703,000	380,826,992	138,876,008
	消費支出の部合計	4,810,745,000	4,307,680,456	503,064,544
	当年度消費収入超過額	△ 4,055,796,000	561,349,531	—

3. 貸借対照表

貸借対照表は、年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を明らかにするものです。(単位:円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	37,000,844,660	30,687,820,847	6,313,023,813
	有形固定資産	12,584,769,473	13,126,773,605	△ 542,004,132
	土地	1,614,060,019	1,614,060,019	0
	建物	6,896,497,371	7,263,638,784	△ 367,141,413
	教育研究用機器備品・図書他	4,074,212,083	4,249,074,802	△ 174,862,719
	その他の固定資産	24,416,075,187	17,561,047,242	6,855,027,945
	減価償却引当特定資産他	24,416,075,187	17,561,047,242	6,855,027,945
	流動資産	1,942,061,881	7,606,923,355	△ 5,664,861,474
	現金預金	1,244,936,615	3,953,738,225	△ 2,708,801,610
	未収入金他	697,125,266	3,653,185,130	△ 2,956,059,864
資産の部合計	38,942,906,541	38,294,744,202	648,162,339	
負債の部	固定負債	1,150,200,524	1,221,980,605	△ 71,780,081
	退職給与引当金	1,150,200,524	1,221,980,605	△ 71,780,081
	流動負債	561,021,467	402,428,578	158,592,889
	未払金	140,666,078	128,626,332	12,039,746
	前受金他	420,355,389	273,802,246	146,553,143
	負債の部合計	1,711,221,991	1,624,409,183	86,812,808
基本金の部合計	32,100,981,530	32,241,114,509	△ 140,132,979	
消費収支差額の部合計	5,130,703,020	4,429,220,510	701,482,510	
負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部合計	38,942,906,541	38,294,744,202	648,162,339	